

日本心臓リハビリテーション学会 第9回東海支部地方会

会長 西垣 和彦 (岐阜県立下呂温泉病院 副院長)

会期 2023年11月19日(日)

会場 じゅうろくプラザ (岐阜市文化産業交流センター)
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11
TEL 058-262-0150 (代)

ご挨拶



日本心臓リハビリテーション学会第9回東海支部地方会
岐阜県立下呂温泉病院 副院長
会長 西垣 和彦

この度、日本心臓リハビリテーション学会第9回東海支部地方会の会長を拝命し、令和5年11月19日(日)に、じゅうろくプラザにて開催させていただくこととなりました。

2020年春から猛威を振っている新型コロナウイルス感染症のため、我々の日常生活だけでなく、日常診療や学会・地方会の在り方までも New Normal を強いられる時代となりました。一方で、コロナ禍にあっても、医療、特に我々の専門分野であります心臓リハビリテーション(心リハ)における進歩・発展のスピードは一向に衰えることなく、さらに都市部から地方へと種々施行形態を変えて広がっています。そんな現状から、今回のテーマを『地域に広がる包括的心臓リハビリテーション』と致しました。

有り難いことに、皆様の多大なる御支援・御協力により多くの一般演題を賜りました。丁寧にしっかりと皆様で議論していただき、明日からの診療の一助にさせていただきたいと思っております。なお、御参加いただきました全員の投票により、最優秀演題を1題、優秀演題を2題決定し、賞状ならびに賞金をお贈り致します。発表は閉会式中に行いますので、是非とも御出席をお願い申し上げます。表彰者不在の場合は、次席演題となりますことを御了承ください。

会長指定講演として、『地域に広がる包括的心リハ：クアオルト健康ウォーキング』を取り上げます。今、日本中でクアオルト健康ウォーキングの輪が広がり、岐阜市では心リハへの適用も始まっています。この機会に、クアオルトに関し造詣を深めていただき、各所属自治体に働きかけてクアオルトを推進していただきたいと思っております。

また本地方会では、CPXの解りやすい基礎・応用講座『CPXを識って、CPXを使い倒す～CPXのピット・フォール!』を開催いたします。講師として、CPX第1人者の安達 仁先生(群馬県立心臓血管センター副院長)より御講演を賜った後に、CPXの実演を行っていただき、CPXの標準手順の確認と得られましたデータの解釈・解析方法を学んでいただきたいと思っております。

今回の心リハ学会東海支部地方会には、多くの企業様からランチョンセミナー、コーヒープレイクセミナー、展示、広告の協賛をいただきました。御支援いただきました企業様には、学会長として本当に感謝致します。包括的心リハを行うためにも、この機会に病態に対する認識や薬理学的知識のアップデートを御願いたします。

最後となりましたが、皆様の心リハに対する熱い思いを存分に語っていただき、実り多い地方会にしていただきたいと思っております。

皆様の御参加を心よりお待ちしております。

交通案内

周辺マップ

* JR岐阜駅2Fからの連絡通路もご利用いただけます。



路線図



じゅうろくプラザ

岐阜市橋本町1丁目10番地11

交通のご案内

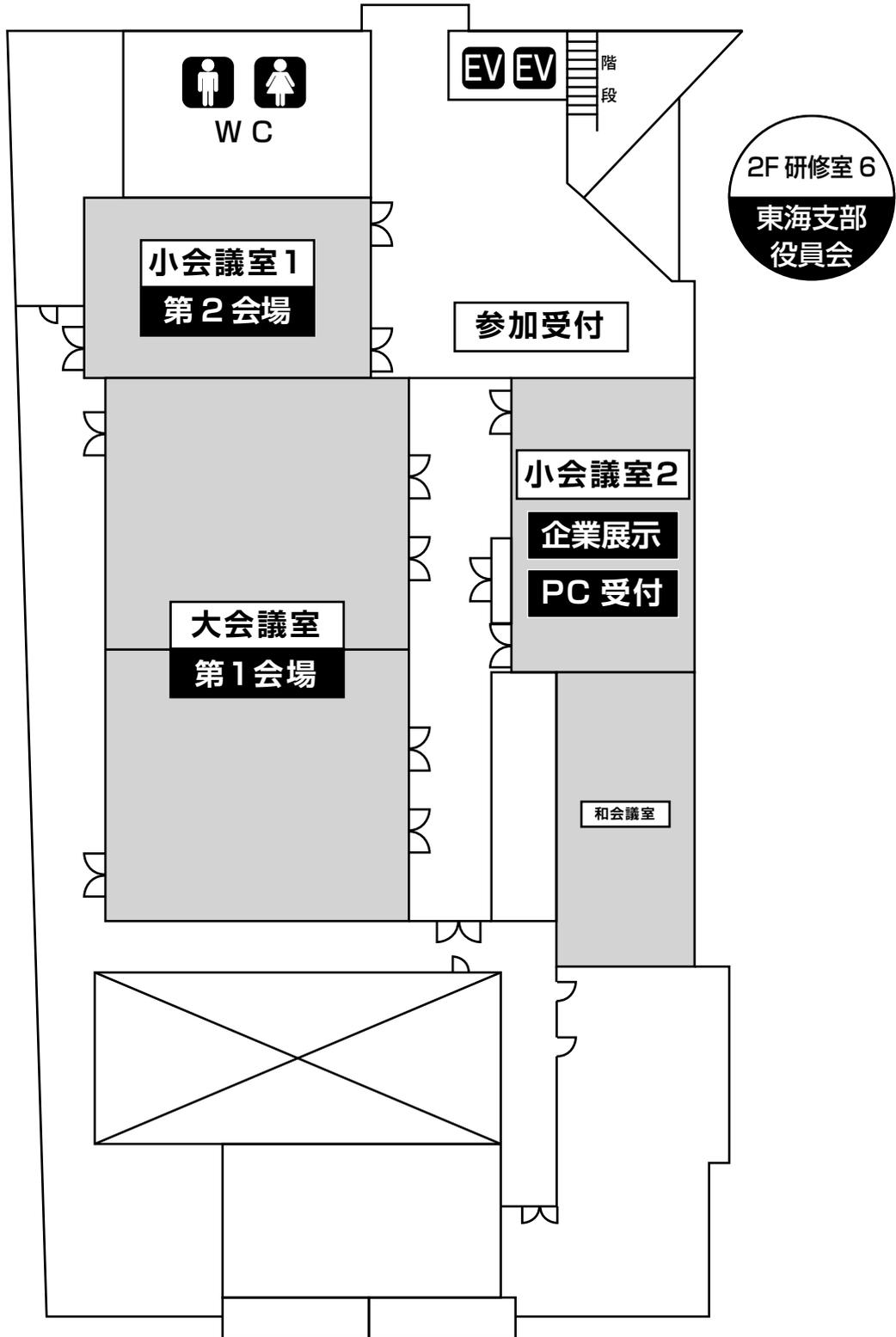
■ JR 岐阜駅隣接	徒歩約 2 分
■ 名鉄岐阜駅より	徒歩約 7 分
■ 岐阜各務原 I.C より	車約 15 分
■ 岐阜羽島 I.C より	車約 20 分

駐車場のご案内

有料駐車場 58 台収容。
ただし、一部の車種についてはスペースの関係上お断りする場合があります。

会場案内

5F



ご来場の先生方へ

参加者の皆様へ

1. 参加費・参加証他について

- ◆参加者は参加費、会員 ¥3,000、非会員 ¥4,000 をお支払いの上、参加証をお受け取りください。
参加受付：5F ロビー 日時：11月19日（日）8：30～
- ◆会場内では、必ず参加証を着用してください。
- ◆今回、全ての一般演題を対象として参加者からの投票による優秀演題賞（最優秀賞1題、優秀賞2題）を選定致します。参加受付時に投票用紙をお受け取りの上、15時までに参加受付にご提出をいただけますようご協力をお願いいたします。

2. 心臓リハビリテーション指導士、認定医、上級指導士の単位登録について

- ◆参加受付の際、単位票をお渡しいたします。
必要事項をご記入の上、会期中に指導士単位受付までご提出ください。
- ◆後日のご提出や代理の方のご提出は認めておりませんので予めご了承ください。

3. 企業展示・クローク・託児所について

- ◆企業展示を5F小会議室②に準備しておりますので、お立ち寄りください。
- ◆今回、クロークおよび託児所はございません。

東海支部役員・評議員の先生方へ

- ◆11月19日（日）8：15～8：50 支部役員会（2F研修室6）
- ◆11月19日（日）8：55～9：20 支部評議員会（5F大会議室）

座長の皆様へ

- ◆ご来場されましたら、参加受付付近の座長受付に必ずお立ち寄りください。
ご来場の確認をさせていただきます。
- ◆担当セッションの15分前には、次座長席にご着席ください。
- ◆進行を一任いたしますので遅延のないようご協力ください。

演者の皆様へ

発表について

※本地方会の発表は、全て口頭発表とさせていただきます。

- ◆発表時間 口頭発表6分、討論3分。
- ◆発表形式 発表は液晶プロジェクターを利用し、Power Point のみになります。
- ◆スクリーンサイズ 16：9（4：3も可）
- ◆発表者ツールの使用はできません。
- ◆当日の流れ

- ・発表30分前までを目途にPC受付（5F小会議室②）にて、発表ファイルの動作を確認して頂きます。
その際に、係員がお預かりしたデータを主催者側のPCにコピーいたします。
- ・受付での時間のかかる編集はお断りします。予め編集が必要であればご自身のPCをご用意ください。
また受付後、編集をされた際は、もう一度受付をしてください。

- ・発表データの受付のあと、発表 10 分前までには会場内の次演者席付近にてお待ちください。
- ・COI スライドを用いて開示をお願いいたします。
- ・発表は演台のマウスおよびテンキーを使用して頂きます。
- ・演題の発表の順番が来た時には最初の画面を用意しております。原則として発表者にスライド操作して頂きます。また演台にレーザーポインターを用意しておりますので使用してください。
※コピーされたデータは学会終了後、主催者側で責任を持って消去いたします。

◆ファイルの作成

- ・持ち込むデータは、必ず事前にウイルススキャンを行ってください。
- ・データは PowerPoint 2010 ～ 2021 のいずれかで作成ください。
事前にデータを作成した PC 以外で正常に動作するか、ご確認ください。
- ・Macintosh PowerPoint で作成されたファイルには拡張子 (.ppt) を付け、Windows で動作の確認をしてください。
※ Macintosh PowerPoint でのご発表となる場合は、ご自身の PC を持参ください。
- ・スライド枚数は制限しませんが、発表時間を考慮して作成してください。
また全容量は 10MB 以下としてください。
- ・アニメーション、動画はトラブルの元ですのでできるだけ使用しないでください（どうしても発表に効果的と考えられる場合はご自身の PC をご持参ください）。また、音声のご利用はできません。
- ・フォントは文字化けを防ぐために標準フォントを使用してください。
（日本語フォント：MS 明朝、MS ゴシック、MSP 明朝、MSP ゴシックなど。
英語フォント：Arial、Century、Times、Times New Roman、Helvetica、Symbol など）。
- ・データのファイル名は「会場名」「演題番号」、「発表者の氏名（漢字）」の順で名前をつけて保存してください。
例) ○-1 環境太郎 .ppt

◆動画のない発表

発表データは USB フラッシュメモリにてご持参ください。

- ・USB フラッシュメモリには当日発表されるデータのみ保存してお持ち込みください。
発表データ以外は入れないでください。

◆動画のある発表

原則としてご自身の PC をお持ちください。

- ・プロジェクターのコネクタは、HDMI、D-sub15 ピンです。
- ・動画を使用される方は実際にお持ち頂く PC で再生できることを必ず事前にご確認ください。本体の液晶画面に動画が表示されても、PC の外部出力に接続した画面には表示されない場合があります。お持ち頂く PC ではない別の PC で作成された動画は、再生できない場合がありますのでお気をつけください。
- ・お持ち頂く PC の電源ケーブルを必ずご持参ください。
- ・音声のご利用はできません。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除してください。
- ・起動時にパスワードの設定をされている場合は、確認させていただきます。
- ・トラブル時の対応用として発表用データのバックアップを取らせて頂きます。ご了承ください。
尚、バックアップのデータに関しましては、学会終了後破棄させていただきます。
- ・発表 30 分前までには、必ず PC 受付にお越しください。PC の試写・通過確認等させていただきます。
PC の試写・通過確認後、ご発表 15 分前までに発表会場内のオペレーター席にて接続確認をしてください。
ご発表後、オペレーターよりご自身の PC をお受け取りください。なお、お持ち頂く PC に保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップをしてください。

日程表

	第1会場 大会議室	第2会場 小会議室①	企業展示 小会議室②
9:00			
9:30	開会の辞		
10:00	9:30～10:30 一般演題① 地域連携・アドヒアランス 0-1～0-6 【座長】野田 明子／熊谷 直人 【ディスカッサント】植田 郁恵／後藤 尚己	9:30～10:30 一般演題④ 各種疾患と心リハ 1 19～24 【座長】谷島 進太郎／高尾 昌資 【ディスカッサント】薬瀬 正伸／藤本 直紀	8:30～17:00 支部役員会のご案内 8:15～8:50 2F 研修室 6 企業展示 ミナト医科学株式会社 フクダ電子三岐販売株式会社 株式会社トーカイ
10:30	10:30～11:30 一般演題② 心不全・心筋症 0-7～0-12 【座長】北田 修一／河野 裕治 【ディスカッサント】金森 寛充／奥村 貴裕	10:30～11:30 一般演題⑤ 各種疾患と心リハ 2 25～30 【座長】前川 裕一郎／小林 聖典 【ディスカッサント】田邊 剛史／植村 祐介	
11:00			
11:30			
12:00	11:45～12:35 ランチョンセミナー① 左室駆出率が保たれた心不全(HFpEF)に対する心リハの注意点 【座長】井澤 英夫 【演者】大西 勝也 【共催】第一三共株式会社	11:45～12:35 ランチョンセミナー② 冠動脈疾患治療に高純度EPAを活かす 【座長】天野 哲也 【演者】上野 高史 【共催】持田製薬株式会社	
12:30			
13:00	12:45～13:45 一般演題③ 疾病管理・多職種協働 13～18 【座長】横山 有見子／後藤 直哉 【ディスカッサント】横家 正樹／原田 憲	12:45～13:45 一般演題⑥ サルコペニア・フレイル・新たな介入法 31～36 【座長】岩瀬 三紀／廣瀬 聡彦 【ディスカッサント】飯田 有輝／辻 聡浩	
13:30			
14:00	13:45～14:45 チーム医療セッション 令和時代の心臓リハビリテーション～新たな介入方法とは～ 【座長】石原真由美／原 康貴	13:45～14:35 一般演題⑦ 運動負荷試験・呼気ガス分析 37～41 【座長】成田ひとみ／清水 真也 【ディスカッサント】安藤 貴洋／近藤 健司	
14:30			
15:00			
15:30	15:00～15:50 コーヒープレイクセミナー① Worsening heart failure に対する積極介入の重要性 【座長】大倉 宏之 【演者】橋本 亨 【共催】バイエル薬品株式会社	15:00～15:50 コーヒープレイクセミナー② 高齢心不全患者の現状と包括的心臓リハビリテーションの役割 【座長】平敷 安希博 【演者】植村 祐介 【共催】ノバルティスファーマ株式会社/大塚製薬株式会社	
16:00			
16:30	16:00～17:00 会長指定講演 地域に広がる包括的心リハ：クアオルト健康ウォーキング 【座長】皆川 太郎／長野 俊彦	16:00～17:00 会長指定講演 【中継会場】	
17:00			
17:30	17:10～18:30 CPXの解りやすい基礎・応用講座 CPXを識って、CPXを使い倒す～CPXのビット・フォール！ 【サポーター】安藤 貴洋 【共催】ミナト医科学株式会社／フクダ電子三岐販売株式会社	17:10～18:30 CPXの解りやすい基礎・応用講座 【中継会場】	
18:00			
18:30	閉会の辞・表彰式		

プログラム

■お断り

原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

座長：皆川 太郎（みながわ内科・循環器科クリニック）
長野 俊彦（友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ）

地域に広がる包括的心リハ：クアオルト健康ウォーキング

1 クアオルト健康ウォーキングの実践とその効果

大城 孝幸（株式会社 日本クアオルト研究所）

2 下呂市での取り組み

大平 敏樹（地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院）

3 岐阜市での取り組みとその効果

湊口 信也（岐阜市民病院心不全センター）

座長：西垣 和彦（地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院）
安藤 貴洋（岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

1 CPXを識って、CPXを使い倒す ～CPXのピット・フォール！

安達 仁（群馬県立心臓血管センター）

2 実際の解析方法～CPXの実演

司会 安藤 貴洋（岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

解説 安達 仁（群馬県立心臓血管センター）

座長：井澤 英夫（藤田医科大学医学部 循環器内科学 教授）

LS1 左室駆出率が保たれた心不全 (HFpEF) に対する心リハの注意点

大西 勝也

大西内科ハートクリニック 院長

共催：第一三共株式会社

座長：天野 哲也（愛知医科大学 循環器内科 教授）

LS2 冠動脈疾患治療に高純度 EPA を活かす

上野 高史

医療法人聖峰会 理事長 特別補佐

共催：持田製薬株式会社

座長：大倉 宏之（岐阜大学大学院 医学系研究科 循環器内科学 教授）

CBS1 Worsening heart failure に対する積極介入の重要性

橋本 亨

九州大学大学院医学研究院 重症心肺不全講座 助教

共催：バイエル薬品株式会社

座長：平敷 安希博（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 循環器内科 医長）

CBS2 高齢心不全患者の現状と包括的心臓リハビリテーションの役割

植村 祐介

愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院 循環器科 代表部長

共催：ノバルティスファーマ株式会社 / 大塚製薬株式会社

座長：石原 真由美（岐阜県総合医療センター 看護部）
原 康貴（岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室）

令和時代の心臓リハビリテーション ～新たな介入方法とは～

■目的・遠隔システムの活用、新しい治療に対するリハビリテーション、高齢心不全患者の回復期リハビリテーション、地域密着型のクリニックの心リハについて、東海地区で活躍されている先生方にご発表いただき、「令和時代の心臓リハビリテーション」の新たな介入方法を考える。

1 ウェアラブルデバイスとアプリを活用した遠隔伴走型運動支援の新展開 ー外来心リハの進化と在宅心リハの質の向上への取り組みー

内藤 紘一（名古屋女子大学 医療科学部 理学療法学科 講師）

2 弁膜症に対する経カテーテル治療後のリハビリテーション

久世 洋嗣（岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室）

3 高齢心不全患者の回復期リハビリテーション

加藤 倫卓（常葉大学 健康科学部 静岡理学療法学科 准教授）

4 クリニックで心臓リハビリを行う本当の意味

竹中 真規（医療法人 TASUKI 循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック 院長）

座長：野田 明子（中部大学大学院 生命健康科学研究科）

熊谷 直人（医療法人永井病院 循環器科）

ディスカッサント：植田 郁恵（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科）

後藤 尚己（後藤クリニック 院長）

1 当院の心臓リハビリテーションにおける入院から外来への参加率の調査

○後藤 直哉¹⁾、佐々木 裕介¹⁾、小塩 信介²⁾、山根 ひろみ¹⁾、栗田 光二¹⁾、佐藤 文則¹⁾、
榊原 浩次¹⁾、天野 航¹⁾、湊口 信也²⁾

岐阜市民病院 リハビリテーション科¹⁾、同 循環器内科²⁾

2 外来集団心臓リハビリテーションにエントリーできなかった患者への個別療法の取り組みと課題

○小島川 彰浩¹⁾、上野 浩季¹⁾、熊崎 誠¹⁾、大滝 裕美¹⁾、横山 有見子²⁾、村田 欣洋²⁾、
吉田 英司²⁾、水澤 直子³⁾

JA 岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院 リハビリテーション科¹⁾、
同 循環器内科²⁾、同 検査科³⁾

3 継続的外来心臓リハビリテーションと非監視下運動療法が症状改善に有効であった重症虚血性心不全の1症例

○原田 康隆¹⁾、原田 憲²⁾、近藤 健司¹⁾、西林 公子¹⁾、山田 純生³⁾

労働者健康安全機構 中部労災病院 中央リハビリテーション部¹⁾、同 循環器内科²⁾、
愛知医科大学 循環器内科³⁾

4 当院における心不全管理ノートの発行状況とその成果、今後の課題・展望

○青野 恵介¹⁾、石神 直之²⁾、中村 淳³⁾、片山 直紀¹⁾、落合 伴哉⁴⁾

藤枝市立総合病院 リハビリテーション科¹⁾、同 心臓血管外科²⁾、同 循環器内科³⁾、
同 入退院在宅支援室⁴⁾

5 岐阜県の慢性心不全認定看護師で行った、心不全ポイントを用いた早期受診の取り組みについて

○蓑島 啓太¹⁾、大野 達也²⁾、中村 智香³⁾

岐阜県総合医療センター¹⁾、訪問看護ステーションひらの²⁾、大垣市民病院³⁾

6 心不全症状に留意した訪問リハビリテーションの継続により身体機能の向上につながった1症例

○藤山 裕晃

訪問看護キープオン守山

座長：北田 修一（名古屋市立大学大学院医学研究科 循環器内科学）

河野 裕治（藤田医科大学病院 リハビリテーション部）

ディスカッサント：金森 寛充（岐阜大学医学部附属病院 第二内科）

奥村 貴裕（名古屋大学医学部附属病院 循環器内科）

7 イバブラジンの投与早期から運動耐容能の改善を得られたミトコンドリア心筋症の1例

○藤本直紀、宇野拳太、石山将希、森脇啓至、岡本隆二、土肥 薫

三重大学大学院 循環器・腎臓内科学

8 担当医との連携により適切な治療介入が実施できた頻脈性心房細動合併心不全の一例

○松岡建太¹⁾、増田貴行¹⁾、生駒剛典²⁾

浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部¹⁾、浜松医科大学 内科学第三講座 循環器内科²⁾

9 心不全管理に難渋する中で身体機能を維持することができた初発心不全の症例

○石丸 曜¹⁾、西川大樹¹⁾、藍澤洋介¹⁾、竹本賢人²⁾、細羽創宇³⁾

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 リハビリテーション科¹⁾、同 循環器内科²⁾、同 心臓血管外科³⁾

10 肥大型心筋症患者の息切れの原因検索にスクワット運動が有用であった一例

○森脇啓至、伊藤弘将、藤田 聡、杉浦英美喜、土肥 薫

三重大学医学部附属病院

11 就労世代の重症心不全患者に、外来心臓リハビリテーションを実施し著明な機能改善が見られた1症例

○白金颯太¹⁾、植木美乃¹⁾、山下純世¹⁾、杉本匡史¹⁾、山下 豊²⁾、板本将吾¹⁾、寺島里加子¹⁾

名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院¹⁾、名古屋市立大学病院²⁾

12 補充療法に反応し CPX データも改善を認めた脚気心の1例

○後藤礼司、大西知広、下田昌弘、松尾幸果、内藤千裕、国村彩子、中野雄介、山田純生、天野哲也

愛知医科大学 循環器内科

座長：横山 有見子 (JA 岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院 循環器内科)
後藤 直哉 (岐阜市民病院 リハビリテーション科)

ディスカッサント：横家 正樹 (美濃市立美濃病院 内科)
原田 憲 (中部労災病院 循環器内科)

13 再発を繰り返す超高齢心不全患者に対するの当院での取り組み

○鳥谷 萌¹⁾、熊谷直人²⁾、東谷 彩¹⁾、赤塚 祐子¹⁾、岡田 恭子¹⁾、貝沼大輝²⁾、
仲田 智之²⁾、星野 康三²⁾

医療法人永井病院 リハビリテーション科¹⁾、同 循環器科²⁾

14 周産期に発症した急性心不全に対し多職種で包括的な疾患管理を行い、 良好な経過をたどった一例

○石原 和越¹⁾、生駒 剛典¹⁾、増田 貴行²⁾、坂本 篤志¹⁾、諏訪 賢一郎¹⁾、大谷 速人¹⁾、
前川 裕一郎¹⁾

浜松医科大学 内科学第三講座 循環器内科¹⁾、浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部²⁾

15 当院心不全チームの活動と継続的なフォロー体制への取り組み

○塩野谷 優太¹⁾、本多 成史²⁾、水藤 亘祐¹⁾、濱井 均¹⁾、菊地 玲奈¹⁾、中井 智博¹⁾

JA 愛知厚生連渥美病院¹⁾、JA 愛知厚生連安城厚生病院²⁾

16 当院における外来心臓リハビリテーションの実情と静岡市の現状

○阪田 純司

静岡県立総合病院

17 多職種による心不全ケアは高齢心不全患者の予後を改善する

○大石 彬人¹⁾、神田 貴弘²⁾、内田 賢吾¹⁾、俵原 敬²⁾

浜松赤十字病院 リハビリテーション課¹⁾、同 循環器内科²⁾

18 国立長寿医療研究センターにおける心臓リハビリテーション7年間の軌跡

○平敷 安希博¹⁾、橋本 駿²⁾、植田 郁恵²⁾、谷奥 俊也²⁾、山崎 栄晴²⁾、原 克典²⁾、
大矢 湖春²⁾、五十村 萌華²⁾、柳澤 英樹²⁾、伊藤 直樹²⁾、上原 敬尋¹⁾、小久保 学¹⁾、
清水 敦哉¹⁾

国立長寿医療研究センター 循環器内科¹⁾、国立長寿医療研究センター リハビリテーション科²⁾

座長：谷島 進太郎（岐阜県総合医療センター 循環器内科）

高尾 昌資（浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

ディスカッサント：築瀬 正伸（藤田医科大学 循環器内科）

藤本 直紀（三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学）

19 心筋梗塞後の心臓リハにおいて効果に差がみられた2例の比較

○山下 豊¹⁾、溝口 達也²⁾、北田 修一²⁾、白金 颯太³⁾、中村 祐実³⁾、寺島 里加子¹⁾、
青木 好子¹⁾、山賀 亘¹⁾

名古屋市立大学病院 リハビリテーション部¹⁾、同 循環器内科²⁾、
名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院³⁾

20 MitraClip 後の心不全再入院予防に外来心臓リハビリテーションが有効であった一症例

○田邊 剛史¹⁾、原 康貴¹⁾、久世 洋嗣¹⁾、瀧野 皓哉¹⁾、永井 敬志¹⁾、市場 奈桜¹⁾、
白井 拳弥¹⁾、堀 将也¹⁾、志村 徹郎²⁾、中川 正康²⁾、松尾 仁司²⁾

岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室¹⁾、同 循環器内科²⁾

21 120mm の巨大冠動脈瘤結紮術後患者の呼吸困難に対する一考察

○大野 裕也¹⁾、吉田 加奈¹⁾、小林 弘明¹⁾、加藤 綾美¹⁾、田丸 健太郎¹⁾、熊崎 康将¹⁾、
石原 真由美²⁾、小倉 健³⁾、岩田 祐輔³⁾、谷島 進太郎^{1,4)}

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 中央リハビリテーション室¹⁾、同 看護部²⁾、
同 小児心臓外科³⁾、同 循環器内科⁴⁾

22 若年肥満患者に対する狭心症二次予防の心臓リハビリ介入の一例 心リハは心に火をつけ体脂肪も燃やす

○竹中 真規、塩井 健介、竹中 蘭、尾前 孔太、麻生 まゆ、竹田 まり子、杉江 嘉子、
岩田 ゆき、高木 比奈子

循環器内科と心臓リハビリの高針クリニック

23 リハビリテーションに難渋したが自宅退院が可能であった 心原性ショックを伴う急性心筋梗塞患者の一例

○権田 敏彰¹⁾、本多 成史¹⁾、加藤 智裕¹⁾、三浦 律子²⁾、植村 祐介³⁾

愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 リハビリテーション室¹⁾、
同 看護部²⁾、同 循環器内科³⁾

24 心不全症状管理に難渋した症例の身体機能維持に低強度レジスタンス トレーニングが有効であった症例

○北別府 夏織¹⁾、河野 裕治^{1,2)}、小澤 祐士¹⁾、吉田 朱里¹⁾、影嶋 伶奈²⁾、前田 寛文²⁾、
船戸 優佑³⁾、築瀬 正伸³⁾、井澤 英夫³⁾、大高 洋平²⁾

藤田医科大学病院 リハビリテーション部¹⁾、藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学 I 講座²⁾、
同 循環器内科学³⁾

座長：前川 裕一郎（浜松医科大学 循環器内科）

小林 聖典（名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

ディスカッサント：田邊 剛史（岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室）

植田 祐介（安城厚生病院 循環器内科）

25 TAVI を施行した高齢患者に対し、多因子運動によりフレイルおよび ADL が改善した 1 例

○原 克典¹⁾、平敷 安希博²⁾、橋本 駿¹⁾、植田 郁恵¹⁾、清水 敦哉²⁾、加賀谷 齊¹⁾

国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部¹⁾、同 循環器内科部²⁾

26 TAVI 施行患者における術前後の身体機能変化

○白木 隆之¹⁾、山田 寛¹⁾、加納 直明²⁾、小川 恭弘²⁾、川口 克廣²⁾、末永 啓人³⁾、
寺本 慎男³⁾、泊 史朗³⁾

小牧市民病院 リハビリテーション科¹⁾、同 循環器内科²⁾、同 心臓血管外科³⁾

27 重度大動脈弁狭窄症を有する心不全患者に対し回復期病棟にて リハビリテーションを施行した一症例

○深川 翔平、多田 英生、土谷 美耶子

国際医療福祉大学熱海病院 リハビリテーション部

28 冠血行再建術後も症状が改善しなかった高齢心疾患患者に心リハは有用か

○谷口 正典¹⁾、城島 直人¹⁾、下郷 卓史²⁾、三原 裕嗣²⁾

四日市内科ハートクリニック 心臓リハビリテーション室¹⁾、同 循環器内科²⁾

29 眩暈を伴う洞停止のためβ₂遮断薬を中止した結果、運動耐容能が向上した高齢者陳旧性心筋梗塞の一例

○城島 直人¹⁾、谷口 正典¹⁾、下郷 卓史²⁾、三原 裕嗣²⁾

四日市内科ハートクリニック心臓リハビリテーション室¹⁾、同 循環器内科²⁾

30 入退院を繰り返した心不全患者に対して外来心臓リハビリテーションが有効であった 1 例

○森田 亨、鈴木 麻友、原田 郁、明石 佳也、伊藤 彩乃、桑田 幸多郎、泉 和宏

愛知医科大学メディカルセンター

座長：岩瀬 三紀（トヨタ記念病院 循環器内科）

廣瀬 聡彦（岐阜県総合医療センター 心臓リハビリテーション部）

ディスカッサント：飯田 有輝（豊橋創造大学 保健医療学部 理学療法学科）

辻 聡浩（鈴鹿中央総合病院 リハビリテーション科）

31 MitraClip 後の臨床症状改善が身体的フレイルに影響を及ぼした一例

- 吉田 加奈^{1,2,3)}、熊崎 康将¹⁾、大野 裕也¹⁾、小林 弘明¹⁾、加藤 綾美¹⁾、田丸 健太郎¹⁾、石原 真由美^{1,2)}、矢ヶ崎 裕人³⁾、谷島 進太郎^{1,3)}、野田 俊之³⁾

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 中央リハビリテーション部¹⁾、同 看護部²⁾、同 循環器内科³⁾

32 高齢心不全患者の四肢骨格筋指数と身体機能の関係は LVEF によって異なる

- 河地 沙弥¹⁾、河野 裕治^{1,2)}、小澤 祐士¹⁾、前田 寛文²⁾、船戸 優佑³⁾、築瀬 正伸³⁾、井澤 英夫³⁾、大高 洋平²⁾

藤田医科大学病院 リハビリテーション部¹⁾、藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学 I 講座²⁾、同 循環器内科学³⁾

33 CCU 長期管理後の身体機能低下に対して系統的な運動介入が身体機能改善に有用であった症例

- 稲垣 花奈子¹⁾、河野 裕治^{1,2)}、小澤 祐士¹⁾、前田 寛文²⁾、船戸 優佑³⁾、築瀬 正伸³⁾、井澤 英夫³⁾、大高 洋平²⁾

藤田医科大学病院 リハビリテーション部¹⁾、藤田医科大学医学部 リハビリテーション医学 I 講座²⁾、同 循環器内科学³⁾

34 遠隔心臓リハビリテーションが身体機能と QOL に及ぼす効果

- 福田 吉辰^{1,3)}、田中 新一郎²⁾、有薊 信一³⁾、川口 智則²⁾、次田 夏美²⁾、伏屋 敬博²⁾、俵 祐一³⁾、瀬川 知則²⁾

朝日大学病院 リハビリテーション部¹⁾、同 循環器内科²⁾、聖隷クリストファー大学大学院³⁾

35 心臓外科術後リハビリテーション症例に対する肺内水分量組成率の計測：記述的研究

- 小林 聖典^{1,2)}、奥村 貴裕^{3,4)}、徳田 順之⁵⁾、伊藤 英樹^{4,5)}、吉住 朋^{4,5)}、六鹿 雅登^{4,5)}

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部¹⁾、名古屋大学大学院 医学系研究科 博士課程総合医学専攻 心臓外科学²⁾、同 循環器内科学³⁾、名古屋大学医学部附属病院 重症心不全治療センター⁴⁾、名古屋大学大学院 医学系研究科 心臓外科学⁵⁾

心不全入院中から自主練習獲得を目的とした介入が僧帽弁置換術後の身体機能の維持に有用であった症例

○村上 涼¹⁾、伊藤 瞬平¹⁾、石川 千尋¹⁾、小桑 里奈¹⁾、稲森 遥¹⁾、橋本 千里¹⁾、
酒井 景衣¹⁾、河野 裕治^{2,3)}、戸田 芙美³⁾

藤田医科大学岡崎医療センターリハビリテーション部¹⁾、藤田医科大学病院リハビリテーション部²⁾、
藤田医科大学医学部リハビリテーション医学I講座³⁾

座長：成田 ひとみ（名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院 循環器内科）
清水 真也（刈谷豊田総合病院 循環器内科／心臓血管外来）

ディスカッサント：安藤 貴洋（岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
近藤 健司（中部労災病院 中央リハビリテーション部）

37 バスケットボールの競技復帰を断念した急性心筋梗塞の一例

○西川 大樹¹⁾、藍澤 洋介¹⁾、名和 森太郎¹⁾、石丸 曜¹⁾、黒田 真之²⁾

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 リハビリテーション科¹⁾、同 循環器内科²⁾

38 心肺運動負荷試験により運動誘発性脚ブロックが診断でき、心臓同期療法が有効であった1例

○中村 有美¹⁾、杉下 綺乃¹⁾、大平 佳美¹⁾、伊藤 弘康¹⁾、河野 裕治²⁾、船戸 優佑³⁾、
築瀬 正伸³⁾、井澤 英夫³⁾

藤田医科大学病院 臨床検査部¹⁾、同 リハビリテーション部²⁾、同 循環器内科³⁾

39 重度の三尖弁閉鎖不全を有する右心不全症例の CPX 所見

○黒木 優子¹⁾、永原 康臣²⁾、奥田 陽一¹⁾、伊藤 駿太¹⁾、坪田 青波¹⁾、宮城 渉²⁾、
平松 孝嗣²⁾、中島 三喜²⁾、長坂 遼²⁾、椎野 憲二²⁾

名古屋記念病院 リハビリテーション部¹⁾、同 循環器内科²⁾

40 LOS を呈する心房細動合併 HErEF 患者の電氣的除細動前後における運動耐容能の比較

○伊藤 駿太¹⁾、永原 康臣²⁾、奥田 陽一¹⁾、黒木 優子¹⁾、坪田 青波¹⁾、宮城 渉²⁾、
平松 孝嗣²⁾、中島 三喜²⁾、長坂 遼²⁾、椎野 憲二²⁾

名古屋記念病院 リハビリテーション部¹⁾、同 循環器内科²⁾

41 心肺運動負荷試験終了時と AT 相当負荷時の自覚的運動強度の関連因子の検討

○鈴木 雄也¹⁾、岡寄 克洋¹⁾、伊藤 桃子¹⁾、三井 統子²⁾

KKR 名城病院 リハビリテーション部¹⁾、同 循環器内科²⁾

日本心臓リハビリテーション学会 第9回東海支部地方会

会長指定講演

テーマ 『地域に広がる包括的心リハ：
クアオルト健康ウォーキング』

日時 令和5年11月19日(日) 16:00～17:00

会場 じゅうろくプラザ 第1会場(Live)、第2会場(中継)

座長 皆川 太郎(みながわ内科・循環器科クリニック院長)
長野 俊彦(岩砂病院・岩砂マタニティ名誉院長)

演者 1. 大城 孝幸(日本クアオルト研究所 代表)
『クアオルト健康ウォーキングの実践とその効果』
2. 大平 敏樹
(地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院理事長・院長)
『下呂市での取り組み』
3. 湊口 信也
(岐阜市民病院心不全センター長・岐阜大学名誉教授)
『岐阜市での取り組みとその効果』



日本心臓リハビリテーション学会

第9回東海支部地方会 ランチョンセミナー

日時 2023年11月19日(日) 11:45~12:35

会場 大会議室
じゅうろくプラザ 5F
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1-10-11 TEL 058-262-0150

プログラム

座長 藤田医科大学医学部 循環器内科学
教授 井澤 英夫 先生

左室駆出率が保たれた心不全 (HFpEF)に対する心リハの注意点

演者 大西内科ハートクリニック
院長 大西 勝也 先生

当日は、ご施設名、ご芳名の記帳をお願い申し上げます。
ご記帳いただきましたご施設名、ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催 日本心臓リハビリテーション学会 第9回東海支部地方会 第一三共株式会社



日本心臓リハビリテーション学会 第9回東海支部地方会

ランチョンセミナー②

日 時

2023年11月19日(日) 11:45~12:35

会 場

じゅうろくプラザ 5階 第2会場
岐阜市橋本町1-10-11

座 長

天野 哲也 先生

愛知医科大学 循環器内科 教授

冠動脈疾患治療に 高純度EPAを活かす

演 者

上野 高史 先生

医療法人 聖峰会 理事長 特別補佐



共 催

日本心臓リハビリテーション学会第9回東海支部地方会
持田製薬株式会社



第9回心臓リハビリ学会東海地方会 コーヒークセブレイクセミナー

日時：2023年 **11月19日**（日） 15:00～15:50

会場：第1会場 **じゅうろくプラザ 5F 大会議室**

〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11 Tel:058-262-0150

ご講演 15:00～15:50

座長

大倉 宏之 先生

岐阜大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授

「Worsening heart failureに対する 積極介入の重要性」

演者

橋本 亨 先生

九州大学大学院医学研究院 重症心肺不全講座 助教

整理券の配布はございません

共催：第9回心臓リハビリ学会東海地方会/バイエル薬品株式会社

MTG23-00345825-20231011



日本心臓リハビリテーション学会 第9回東海支部地方会 コーヒースタンドセミナー②

日時:23年11月19日(日) 15:00-15:50

会場:じゅうろくプラザ 5F 第2会場小会議室②

(岐阜市文化産業交流センター)

〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10番地11

座長

平敷 安希博 先生

国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター 循環器内科 医長

高齢心不全患者の現状と 包括的心臓リハビリテーションの役割

演者

植村 祐介 先生

愛知県厚生農業協同組合連合会

安城更生病院 循環器科 代表部長



共催:日本心臓リハビリテーション学会第9回東海支部地方会
ノバルティスファーマ株式会社/大塚製薬株式会社